

ADVENTURE LIFE CULTURE

Hobie Life

Vol. 01

Hobie®



ADVENTURE LIFE CULTURE

Hobie Life

Vol. 01



COVER

Photographer: Nachos

Plus Ultra

もっと先へ、まだ見ぬ世界へ、新たな景色を。

Photographer: Nachos



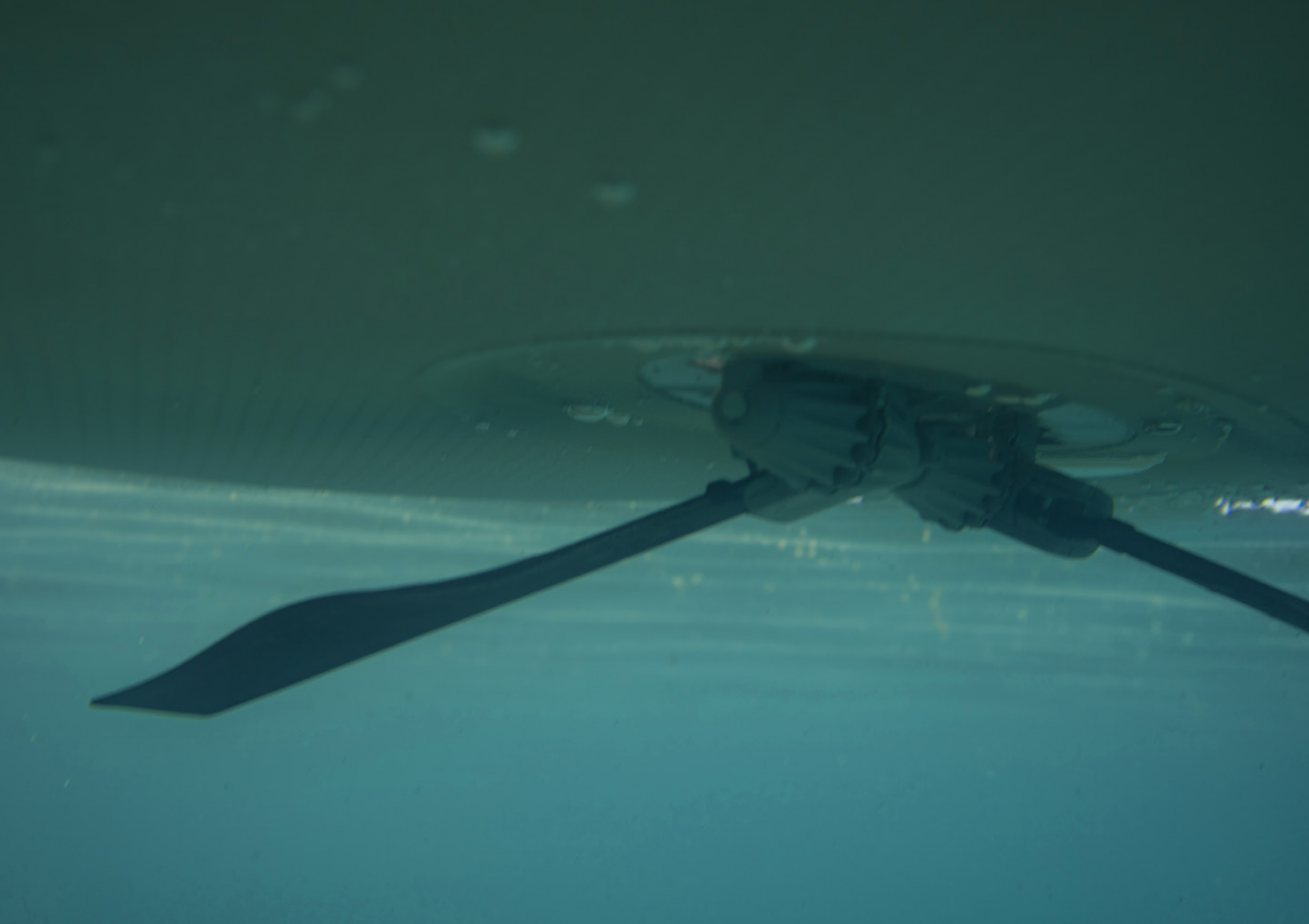






Hobie











SINCE 1950

始まりは 1950 年、サーフカルチャーが皆無だったカリフォルニアのラグナビーチにあるガレージ。HOBIE 社の創業者であるホビー・アルターは、自分の得意とする木工技術で、バルサ材を使用し初めて友人のためのサーフボードを作った。ホビーのサーフボードの需要は急増し、1953 年、ホビーはカリフォルニアのダナポイントにサーフショップをオープンした。

「硬い革靴は履かない」

「スーツとネクタイが必要な仕事はしない」

「パシフィック・コースト・ハイウェイから離れて仕事をしない」

ホビーの“遊び”は“ビジネス”へと移り変わったが、いつの時でもその瞬間を楽しく生きるアイデアや創造力は変わらず、当時としては前代未聞のこの 3 つの指針を掲げ実現し、ビジネスを成功させた。

ホビーは遊び道具だけではなく、ライフスタイルも生み出した。ホビー・アルターという一人の男の夢は、70 年以上経った今でも新しい世代に継承している。彼らは太陽、波、砂の上での自然の中で最高の瞬間を楽しみに、ロゴの“H”を綴った素晴らしいウォータークラフトコレクションを作り上げ、世界中の水辺に斬新な遊びやカルチャーを提供している。

さあ、水の上に出て、あなたなりの楽園を発見しに行こう！

“波がない日は、風をつかまえる”

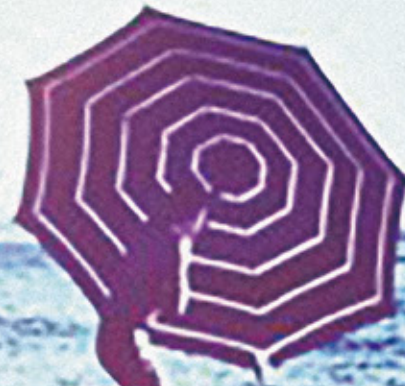
多くのサーファーは波がない日は海で遊ぶことを諦めるだろう。

しかしホビー・アルターは波と同じように自然が生み出す風にヒントを得て、ビーチパラソルを帆に見立て風をつかまえ、フラットな海の航海を楽しんだ。ホビーは他の誰も考えつかない楽しい時間を過ごすことができた男だった。パラソルを持った「セーリング」は見た目よりも難しいが、風をつかめればメキシコにたどり着くことさえできるほどに爽快だった。

サーフボードセーリングのもう一つの素晴らしいポイントは、笑わずにはいられないということ。最高の時間を過ごすために生きていることを思い出させることだ。

アメリカのHOBIE社オフィスには創業者ホビーの写真がたくさん飾られている。サーフボードを作るホビー、サーフショップの前に立つホビー、セーリングをするホビー、ダートバイクでジャンプするホビー、フィル・エドワーズとサーフボードのブランクについて話しているホビー……。

しかしこの写真ほど、ホビーとHOBIE社の核心を捉えている写真はない。自然を愛する遊びの天才ホビーの意志は今もHOBIE社に受け継がれている。



Hobby 1961



イマジネーションと創造の幕開け

世界中に共鳴するホビー・アルターのイマジネーションによる創造は、1950年ラグナビーチにある両親のガレージから幕を開けた。

木を利用して海で遊ぶ道具を作るという、自然を愛するホビーならではのアイデアで、友人のために9feetのバルサ素材でできた初めてのサーフボードを作り上げた。

第2次世界大戦中の当時は、サーフボードを作るための資材が不足していたが、海軍のドッグに捨てられたバルサ材の救命いかだを譲ってもらい、リサイクルの原点ともいえるサーフボードを次々と作っていった。

ホビーの作るサーフボードはスムーズなライディングが可能になると評判がよく、需要が急増し、遊びはビジネスへ。南カリフォルニアで初のサーフショップをダナポイントにオープンした。

ラグナビーチのガレージが大きなオフィスに変わっても、遊び心とイマジネーションを持ち続け、新しい遊び道具を生み出すホビーのビジネスは成功を遂げていく。



世界初の偉業でサーフィン界に革命

1958年、ホビーのビジネスパートナーであったグラビー・クラークとともに、世界初のグラスファイバーとポリウレタンフォームのボードを製造し、“Hobie Surf”はサーフィンに革命を起こした。

ポリウレタンフォームのボードは軽く、速く、乗りやすく、全米のサーファーの間でホビーサーフボードは大ブレイクした。1960年代半ば、ホビーのサーフチームは現在でもレジェンドと呼ばれる多くのライダーが在籍していた。

サーフボードにとどまらず、スケートボードの誕生を目の当たりにした1962年には、ポリウレタン製のスケートボードホイールを導入し、スケートボードを進化させた。



風をつかまえる

ビジネスを開始して間もない頃、ホビー・アルターはワイキキのマヌカイカタマランに乗ってセーリングを体験したことで、マストと帆を備えたハワイアンスタイルのアウトリガーの開発を始めた。たくさんの研究開発、失敗を経て、1968年にホビーは軽量でビーチで使えるセーリング・カタマラン「Hobie 14」を発表した。自然の中で楽しむための新しい道具として紹介し、今度は“Hobie Cat”としてセーリング界にも革命をもたらした。過去40年間、Hobie Catに乗って海に出た人の数は、他のどのデザインのヨットよりも多く、世界で最も売れたヨットであり、どの大陸でもホビーのレーシングフリートが活動している。

Hobie Catの流行

風と波を使い、よりダイナミックなサーフィングを楽しめる Hobie Cat は、波の立つビーチから出艇できるよう波の上でも安定していて、転覆もしづらく、ビーチにそのまま乗り上げて着艇をしたり、多少荒っぽい乗り方をしても壊れないように、船体の造りは頑丈に設計された。また、ホビーの製品はデザイン面でも異彩を放っていた。白が主流だったヨットの帆をカラフルにし、世界中の水辺を華やかに変えた。斬新さが功を奏し、当時のセーリング界では珍しく、数々のスポンサーをつけたレース大会も開催された。



Hobie Kayakの誕生

1990年代には、サーフィンとセーリングよりも更に気軽に水遊びを体験できるようにロトモールド・ポリエチレン製の新世代ツーリングカヤックを製造。HOBIE 社はカヤックメーカーとしても先駆けとなった。



Hobie MirageDriveの誕生

そして1997年、現在の HOBIE 社の代名詞ともなる足漕ぎペダル式装置「Hobie MirageDrive」がグレッグ・ケッターマンによって開発された。特許取得の革新的な MirageDrive は足でペダルを漕ぐことで、パドルや帆に代わる推進力を得て、新しいカヤックやセーリングの楽しみ方を実現した。



ビーチから世界中の水辺へ

2000年代には Stand Up Paddle boat (通称 SUP) も誕生した。HOBIE 社の SUP やカヤックには MirageDrive が搭載されたモデルも誕生。更に、セーリング、ペダル、パドルのすべてを楽しめるミラージュ・アドベンチャー・アイランドも開発された。海での波乗りからスタートした遊びも、セーリング、カヤックによるフィッシング、SUP による水上散歩など…それぞれのオーナーによって水辺での過ごし方や遊び方が増えていった。こうして、ホビーの遊び場は海にとどまらず、世界中の水辺で遊びの幅が広がり続けている。

HOBIE MirageDrive

－自然と共存するイノベーション－

従来のカヤックはパドルで漕いで進む乗り物であった。

しかし、腕よりもはるかに強く耐久性のある人間の脚力を効率的な推進力に活かす方法が、1997年、グレッグ・ケッターマンによって開発された。

HOBIE社の代名詞ともなっている、ペダル式装置「Hobie MirageDrive」。着脱可能なペダルを前後に足踏みをすると、プロペラブレードの形状にねじったフィンが左右に動き推進力を生み出す。今までパドルを漕ぐために使用していた腕が自由になり両手が使えるようになったことにより、カヤックでのフィッシングへの人気が高まった。

MirageDriveが開発されて以降も改善のための研究は重ねられた。推進力についてはもちろん、もう一つ大きな研究の軸となったのは自然界への影響である。

プロペラ式ボートは水面の下でプロペラが回転すると泡を立て、水中の生物たちに恐怖心を与えたり、海藻などを巻き込み自然を壊すことにつながりかねない。そこでMirageDriveはペンギンが泳ぐ時の羽の動きを研究した。自然界に既に存在する動きを取り入れたことで、水中の生物たちは逃げることはなく、時にHobie Kayakを仲間と思い、共に水中の時間を楽しむこともできるようになった。



Photographer: Nachos

HOBIE JAPAN 始動

HOBIEは、発祥の地の本国アメリカでウォータースポーツブランド認知度第1位に君臨。カヤックのプレミアム製品市場におけるマーケットシェアや独立系動力無しウォータースポーツ製品ディーラー市場におけるマーケットシェアも第1位。

セーリング、カヤック、SUP、フィッシング、ペダルボードなど長年にわたりウォータースポーツブランドの一线を走り続けている。

世界的にアドベンチャーアクティビティ市場が成長している中、山岳、森林、湖など世界有数のアドベンチャー環境を誇る海に囲まれた島国日本における新たなライフスタイルツールとして、ウォーターアクティビティカルチャーのハードルを下げ、気軽に水辺で過ごす時間に彩りを加えるべくHOBIE JAPANがいよいよ始動した。

MIRAGE ITREK FIESTA

COLORS (色) : Slate Blue
CREW (人数) : 4
DRIVE (駆動) : (4) MIRAGEDRIVE GT
LENGTH (長さ) : 4.57m
WIDTH (幅) : 2.03m
CAPACITY (最大容量) : 453.6kg
FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 35.4kg
FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 47.63kg



MIRAGE TANDEM ISLAND

COLORS (色) : Red Hibiscus / Ivory Dune

CREW (人数) : 1-2

DRIVE (駆動) : (2) MD 180 TURBO W / KICK-UP FINS + ARC CRANKS

LENGTH (長さ) : 5.64m

BEAM [AMAS FOLDED IN] (AMA 格納時) : 1.22m

BEAM [AMAS OUT] (AMA 展開時) : 3.05m

CAPACITY (最大容量) : 272kg

VANTAGE CTW SEAT CAPACITY (座席耐荷重) : 124.74kg

FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 59kg

FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 109kg

MAST LENGTH (マスト長さ) : 5.49m

SAIL AREA (帆面積) : 8.4㎡

HULL CONSTRUCTION (船体構造) : ロトモールド製造 / 素材 : ポリエチレン





MIRAGE OUTBACK

COLORS (色) : Papaya Orange / Ivory Dune /
Camo / Seagrass Green / Sunrise Camo

CREW (人数) : 1

DRIVE (駆動) : MD 180 TURBO W/ KICK-UP FINS + ARC CRANKS

LENGTH (長さ) : 3.89m

WIDTH (幅) : 0.86m

CAPACITY (最大搭載重量) : 192.78kg

VANTAGE CTW SEAT CAPACITY (座席耐荷重) : 124.74kg

FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 38.56kg

FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 46.72kg

HULL CONSTRUCTION (船体構造) : ロトモールド製造 / 素材 : ポリエチレン



MIRAGE COMPASS DUO

COLORS (色) : Seagrass Green / Papaya Orange

CREW (人数) : 2

DRIVE (駆動) : (1) MIRAGEDRIVE 180 + (1) MIRAGEDRIVE GT

LENGTH (長さ) : 4.11m

WIDTH (幅) : 0.89m

CAPACITY (最大搭載重量) : 215.46kg

SEAT CAPACITY (座席耐荷重) : 124.74kg

FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 41.73kg

FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 57.61kg

HULL CONSTRUCTION (船体構造) : ロトモールド製造 / 素材 : ポリエチレン



MIRAGE ITREK 9 ULTRALIGHT

COLORS (色) : Seagrass Green
CREW (人数) : 1
DRIVE (駆動) : MIRAGEDRIVE GT
LENGTH (長さ) : 2.87m
WIDTH (幅) : 1.02m
CAPACITY (最大搭載重量) : 158.8kg
FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 9kg
FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 16.8kg

MIRAGE LYNX

COLORS (色) : Ivory Dune / Catalina Blue

CREW (人数) : 1

DRIVE (駆動) : MIRAGEDRIVE 180 WITH KICK-UP FINS

LENGTH (長さ) : 3.35m

WIDTH (幅) : 0.91m

CAPACITY (最大搭載重量) : 158.76kg

FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 21.32kg

FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 28.58kg





MIRAGE IECLIPSE

COLORS (色) : Seagrass Green
DRIVE (駆動) : MIRAGEDRIVE GT
LENGTH (長さ) : 3.35m
WIDTH (幅) : 1.02m
CAPACITY (最大搭載重量) : 136kg
FITTED HULL WEIGHT (船体重量) : 12.7kg
FULLY RIGGED WEIGHT (完成重量) : 18.1kg



Discover your paradise!!



Photographer

Nachos

“Beautiful Adventure”をテーマに世界へ旅に出るフォトグラファー。雑誌への写真提供やインタビュー、WEBマガジンのライターからアパレルブランドのルックブック撮影・ディレクションなど、国内外問わずマルチに活躍する。

<https://www.saltybabephoto.com>

Instagram : @nachos.san

Official HP



hobiejapan.com

Instagram



[@hobie_japan](https://www.instagram.com/hobie_japan)

Offers a special adventure life culture.



©AMUSE INC. All Rights Reserved

